

...まだまだ寒い中でも頑張る... 2月のTLG

LKで防災訓練を行いました。

昨年は客先でのボヤ火災や仕入先が火災で全焼という事故があり防災意識の向上が求められています。

LKでは全員が参加し消防署の指導のもと各種訓練を行いました。

零下2度の中での
防災訓練です



消火器による消火訓練



消火栓からの放水訓練



全員が見守る中消防署員による蘇生救助
活動のデモンストレーション



実際に社員も蘇生救助を
体験しました。

防災と安全作業はすべてに優先します。ルミナス韓国では3月までに、構内危険個所の総点検を行い安全に作業できる環境にあるか、防災の仕組みは徹底しているかを、全社的にチェックします。

4月にはチェックリストに基づき、現場巡視を行い、改善すべき点があれば即改善し、また日常の活動の中に防災意識が徹底する仕組みがあるのか、をポイントに各工程を確認します。

事故と災害は起こってからでは遅い、起こる前、起こす前の予防が一番重要です。

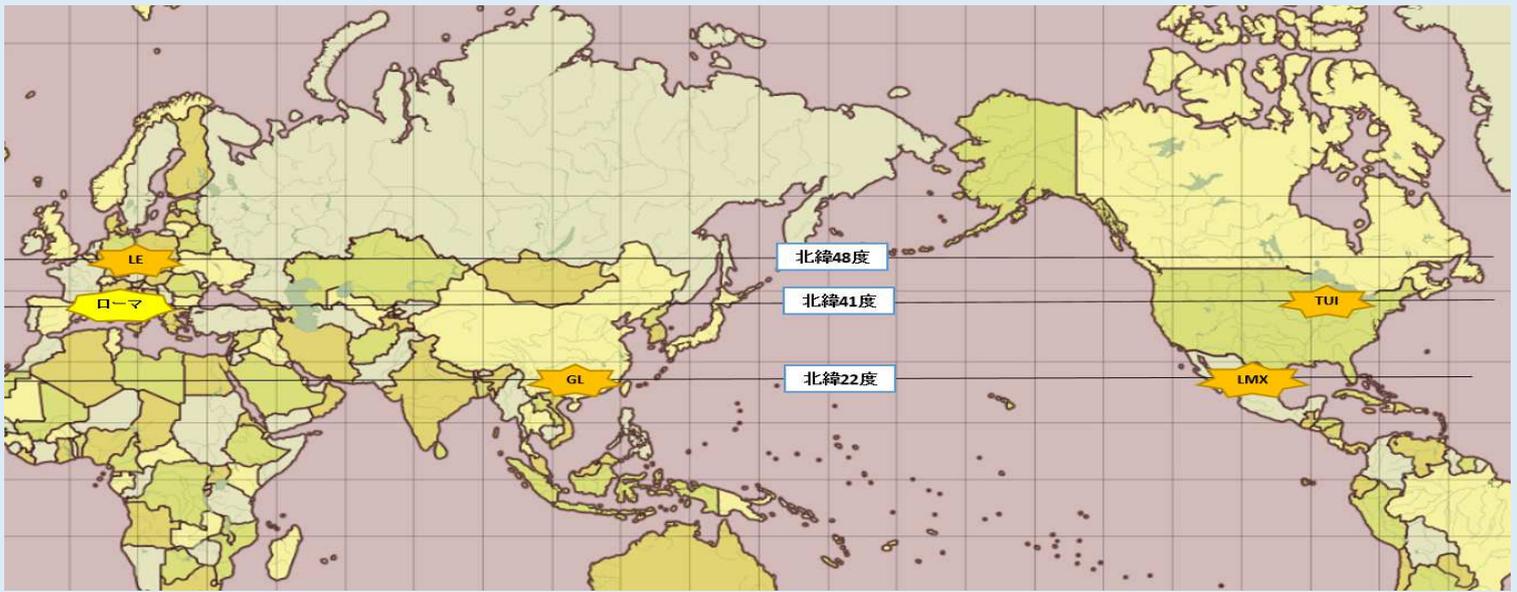
ルミナス韓国では始業前の全員体操の後、「安全作業第一」を唱和しますが、4月からは本当に身の回りの危険予知を心がけて、ちょっとしたことで、打ち上げる「これっていいの？」運動を始めます。

ちょっとした気づき、いつもと違う、ヒヤッとした、などをどんどん打ち上げて、安全で安心な工場にしていきます。

3つの「ふ」(不安、不満、不安定)から3つの「あ」(安心、安全、安定)へ。

TLG各拠点の世界地図上の位置関係

今年、シカゴは記録的な寒波に見舞われましたが、TLGの各拠点を緯度で見ると思わぬ事実が分かりました。零下30度だったTUIはローマと同じ北緯41度、さすがにローマでは大雪はありません。LEはそれよりも北の北緯48度。モンゴルよりも北に位置し、カナダのバンクーバーあたりと同じ位置。一方、LMXがあるサンルイポトシは北緯22度でこれはGLがある広州とほぼ同じ緯度。LMXは標高1800メートルに位置しているのに、周りの山では季節によっては時々雪が降りますが、さすがに広州では大雨は降っても雪は降りません。同緯度でも海流や標高の差で気候は大きく違うもんなんですね。



その寒いシカゴですが、今回のシカゴオヘア空港への着陸コースがミシガン湖上空でのUターンでしたので、氷上に浮かぶ摩天楼を撮影することができました。ミシガン湖の氷は一部融けて亀裂が見えはじめましたが、まだほとんど氷に閉ざされたままです。(2月22日現在)



氷上に浮かぶ
シカゴの高層ビル



表面に亀裂があるものの
厚い氷に覆われたミシガン湖

房総半島の秘境「を崩れ水仙郷」春の兆しを求めて、ちょっと足を延ばしてみました。
水仙は春の訪れを知らせる冬の花として、伊豆の下田が有名ですがここ房総半島のど真ん中、
「を崩れ」地域も知る人ぞ知る水仙の群生地です。近くには谷沢水仙郷もあり、ここはハイカーでにぎわいます



「を崩れ」地区は房総の山間にひっそりと古き山村の面影を残している集落です。この時期になると、村全体が水仙の甘い香りに包まれます。早咲きの菜の花や、梅も見られてとても心休まる景色が見られます。近くの農家では自家製の干シイタケやかんきつ類、梅干しや野菜などを軒先で分けてくれます。都心から1時間で昭和初期にタイムスリップしたようなこの山村は心の癒しにこれからも健在であってほしいと思いますが、今の日本が抱えている社会問題、限界村落の現実でもあります。ふるさと納税はこういうところをしたい、と思った小さな旅でした。

道順：京葉道路から、富津館山道に入り、鋸南保田で降りて
県道34号(長狭街道)を鴨川方面へ、インター降りて20分
「を崩れ地区」の看板あり、帰りは道の駅「保田小」がおすすめ、
横浜方面からは金谷のフェリーを使うと旅行気分が増します。

